内容	懲戒処分の公表について	令和7年2月14日
----	-------------	-----------

1 職員の処分内容、処分理由等【洲本市ふるさと納税問題に関する事案】

所属	性別	年代	役職等	処分年月日	処分内容	事案概要
産業振興部 当時(企画情報部)	男	60代	7級 (部長職)	令和7年2月14日	停職 1か月	ふるさと納税の返礼品である洲本温泉利用券が地方税法等の基準に違反する疑いがあるため総務省の調査が令和4年2月に行われ、これに対応する目的で真実に反する内容の公文書が作成された。その際、決裁欄に専決権者(作成権限者)として押印し、文書を完成させ、編てつし、調査に対応した。 決裁制度上、専決権者は、決裁を行わず承認しない権限を行使し、文書の問題点を確認し、是正を図ることができるところ、文書の真偽を確認、追及することなく、専決権者として押印し、不作為的に真実に反する内容の文書を完成させ、虚偽公文書の作成及び行使に相当する公文書の不適切な取扱いをしたことから、懲戒処分を行った。
企画情報部	男	50代	7級 (課長職)	令和7年2月14日	1か月間 給料月額 10分の1 減給	上記事案において、総務省の調査に対応する目的で、部下が起案した決裁書が真実に反することを知らながら当該決裁書に押印した。 部下を監督する立場にありながら公文書の不適切な取扱いに深く関与したことから、監督責任として懲戒処分を行った。
総務部 当時(企画情報部)	男	50代	5級 (係長職)	令和7年2月14日	戒告	上記事案において、真実に反する内容の公文書の起案者欄に押印し、編てつし、虚偽公文書の作成及び行使に相当する公文書の不適切な取扱いをしたことから、懲戒処分を行った。

2 市長のコメント

この度、処分を科すにあたり、改めてこのような事態を招きましたこと、市民の皆様にご心からお詫びを申し上げます。
今後も引き続きコンプライアンスの徹底を図るとともに、適正な組織体制を確立し、信頼回復に努める所存です。